

中学校 第2学年 英語科学習指導案

平成27年10月7日(水)5校時

2年生

場所 2年教室

授業者

1 単元名

NEW HORIZON English Course 2 Let's Read 1 A Magic Box (東京書籍)

2 単元について

単元観 キャリア観

対話劇の形で書かれた、2年生最初の読み物教材である。言語材料としては、人に依頼するCould you～?、look+形容詞、近い未来を表すbe going to～や、不定詞(名詞用法、副詞用法)が含まれており、既習事項の復習としても学習できる。また、物語の結末である第3の提案を、1人ひとりの生徒が内容をふまえて考え、表せるように、英文を読む目的を明確にして学習を進める必要がある。

本単元で物語内容を正しく読み取り、登場人物らしく音読する学習活動に取り組むことで、生徒達は、学習指導要領に示された言語活動の「読むこと」ー(イ)「書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読する」力を養うことができると考える。

学習指導に関して、本単元ではロールプレイに取り組んで、登場人物になりきって音読する学習活動をすすめる。1年時の県版学力定着状況調査では、三領域すべてで県正答率を下回っている生徒が多く、既習事項の定着が不十分である。特に、概要把握の問題で課題が多い。帯活動による反復学習や、登場人物の心情を想像して読み進めることなどで、基礎学力の定着を目指していきたい。

また、須崎市は学校教育全体でキャリア教育の推進に取り組んでいる。本単元は、ペアや集団で学習を進めていくことで、お互いのことを考え、生徒達の人間関係形成の力を伸ばす場としていきたい。

生徒について、本校は平成17年度より小中一貫教育に取り組んでおり、2年生4名も小学校からお互いをよく知っている。学習や行事に協力することができているが、英語に苦手意識を持つ生徒や、学習面で配慮が必要な生徒もあり、少人数とはいえ、学力の差が大きい学級である。

1学期実施の授業アンケートでは、内容を読み取る学習について、4名中2名が「どちらかと言えば分からない」、音読について、1名が「どちらかと言えば分からない」と答えている。役割分担をして音読に取り組み、他者と繋がり協力しながら学習することで、学習集団としての成長を促していきたい。

3 単元(題材)の目標

- ・教科の指導目標
 - (1) 間違いを恐れず、積極的に音読する。
 - (2) 既習事項を用いた文構造を理解する。
 - (3) 物語内容をふまえて、適切に音読する。
 - (4) 登場人物になりきって、感情を込めてロールプレイに取り組む。
- ・キャリア教育視点でつきたい力 他者と関わり合って学習をすすめる際、相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。
(人間関係形成能力・社会形成能力)

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
①間違いを恐れず、積極的に音読することができる。	①物語内容をふまえて、適切に音読したり、英語で表現したりすることができる。 ②登場人物になりきって、感情を込めてロールプレイをすることができる。		①既習事項を用いた文の構造を理解している。

5 指導と評価の計画（全8時間）

時	学習内容	評 価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	・単元の見通しを持つ。 ・本文最後まで読み、大まかな内容を把握する。						
2	・本文を読み進めて、物語の要点を理解する。 ・既習事項を復習する（依頼を表す文）。				○	エ① 依頼を表す文の構造を理解している。	・学習活動観察 ・ワークシート ・後日定期テスト
3 (本時)	・本文を読み進めて、物語の要点を理解する。 ・登場人物の気持ちを考えて表現する。 ・既習事項を復習する（look＋形容詞、不定詞の名詞用法を用いた文）。		○			イ① 物語内容をふまえて、適切に音読したり、登場人物の気持ちを考えて英文を書いたりできる。	・学習活動観察 ・ワークシート ・後日定期テスト
4	・本文を読み進めて、物語の要点を理解する。 ・登場人物の気持ちを考えて表現する。 ・既習事項を復習する（不定詞の名詞用法を用いた文、未来を表す文）。		○			イ① 物語内容をふまえて、適切に音読したり、登場人物の気持ちを考えて英文を書いたりできる。	・学習活動観察 ・ワークシート ・後日定期テスト
5	・本文を読み進めて、物語の要点を理解する。 ・役割を分担して、個人で音読練習をする。 ・物語の結末を自分で考えて、英文で書く。		○			イ① 物語内容をふまえて、適切に音読したり、登場人物の気持ちを考えて英文を書いたりできる。	・学習活動観察 ・ワークシート ・後日定期テスト
6	・復習課題に取り組み、学習内容を補充する。 ・各自が考えた物語の結末について、話し合う。 ・役割を分担して、ペアやグループで音読を練習する。		○			イ① 物語内容をふまえて、適切に音読できる。	・学習活動観察
7	・復習課題に取り組み、学習内容を補充する。 ・役割を分担して、個人、ペアやグループでロールプレイを練習する。		○			イ① 物語内容をふまえて、適切に音読できる。	・学習活動観察
8	・役割を分担して、ロールプレイに取り組む。 ・単元を振り返り、自己評価をする。	○	○			イ② 登場人物になりきって、感情を込めてロールプレイをすることができる。 ア① 間違いを恐れず、積極的に音読することができる。	・学習活動観察 ・自己評価および相互評価 ・後日リーディングテスト

6 本時の指導

- (1) 本時の目標 登場人物の気持ちを考えて、英語で表現する。
- (2) 観点別評価規準 イ① 物語内容をふまえて、適切に音読したり、登場人物の気持ちを考えて英文を書いたりできる。
- (3) 準備物 CD、ワークシート、ピクチャーカード、ストップウォッチ

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 ○…教科の留意事項 ☆…キャリア教育視点での留意事項	評価規準	評価方法
導入	Greeting Small test、INPUT	○リズムよく進めていく。 ○大きな声を出して、既習語いの定着を目指す。		
展開	既習事項の復習			
	めあての確認	登場人物の気持ちはどうだったかを考えよう。		
	音読練習① 一斉 ワークシート (内容理解、確認)	○しっかり声に出して複数回練習する。 ○本時の課題(めあて)にスムーズに取り組めるよう、読み取りの観点に注目させる。		
	音読練習② 個人、ペア ワークシート (本時の課題)	☆協力し合って、関わり合いながら学習をすすめる時間を取る。 ○つまづいている生徒には、日本語でヒントを与える。 ○動詞の時制に注意するように声をかける。 ○早く終わった生徒には、さらに本文を読み進めるよう促す。	イ①	ワークシート点検
まとめ	振り返りと挨拶	本時で学んだ内容を短時間で確認し、次時の内容を伝える。 宿題についての連絡をする。		